北海道新型コロナウイルス感染症対策本部
第１００回本部会議　記録

日　時／令和４年３月１１日（金）
１８：３０～１８：４２
場　所／本庁舎３階　テレビ会議室

【副本部長（小玉副知事）】
これより、北海道新型コロナウイルス感染症対策本部の第100回本部会議を開催します。
まず、道内の感染状況等について、新型コロナウイルス感染症対策監から説明願います。

【原田新型コロナウイルス感染症対策監】
それでは、道内の感染状況等についてですけれども、まず主な指標の状況です。昨日時点で、新規感染者数は、引き続き、今週先週比が１を下回っておりまして、10万人当たりでは、札幌市291.3人、札幌市を除く地域が183.9人、全道224.2人と減少傾向を継続しています。療養者数も同様の傾向になっています。病床使用率ですけれども、全道で30.8%、札幌市を除く地域で25.9%でして、先週に引き続き減少しています。札幌市も41.9%と、先週比で減少となりましたけれども、他に比べては高い状況が続いているという状況です。
各圏域毎の状況ですけれども、新規感染者ですが、一部圏域で増加の動きがありますけれども、多くの圏域において、減少しております。病床使用率ですけれども、札幌市で高止まりの状況を継続しているという状況になります。
続いて、総評です。療養者数は減少傾向が継続しており、病床使用率も減少に転じはじめた。札幌市以外の地域の減少が見られる一方、札幌市では高止まりが続き、全体を押し上げている状況です。医療機関等での集団感染事例の確認が続いておりますが、件数は減少しています。
新規感染者数は、引き続き、各地で感染事例が確認されておりますものの、減少傾向が継続しています。年代別では、30代以下、60代以上ともに減少しているという状況です。
今後の対策です。新規感染者数は減少が続き、病床使用率も減少に転じはじめたが、札幌市の病床使用率は高止まりが続くなど、引き続き、警戒が必要な状況です。まん延防止等重点措置の下、全道において、感染リスクが高まる場面や感染が広がっている場所における感染防止行動の徹底を図ってまいります。ワクチンの追加接種の加速をはじめ、経口治療薬を提供する医療機関等や無料検査登録事業所の拡充、第三者認証の取得促進など、感染防止対策と社会経済活動の回復の両立に向けた取組を集中的に進めてまいります。今後、就職や卒業・進学等に伴う人の移動や会食機会の増加など、感染リスクの高まる時期を迎えますことから、年度末、年度始めに向けた対策の徹底を呼びかけてまいります。
スライド４以降について、何点か補足いたしますと、まず年代別の新規感染者数ですけれども、30代以下、60代以上、いずれの年代においても、先ほどご説明したとおり、感染者は継続して減少しております。なお、全感染者数に占める30代以下の割合ですけれども、ちょっと先週に比べて上がっているという状況になります。
集団感染の発生の状況です。医療施設、福祉施設とも集団感染事例ですが、全道で継続して確認されておりますけれども、先週に比べればその件数は、いずれも減少しているという状況でございます。

続いて、人出の状況です。札幌市の主要地域における21時の人出の状況ですけれども、まん延防止等重点措置適用後は減少しておりますけれども、２月に入り、徐々に増加が見られておりまして、足下では、まん延防止等重点措置適用前と比較いたしまして、すすきの駅はまだ下回っておりますけれども、札幌駅はほぼ同数となっている状況になります。

ワクチンの接種状況ですけれども、道内で３回目接種を終えられた方ですけれども、約139万人、接種率ですけれども26.6％という状況になります。また、北海道ワクチン接種センターでの予約率の状況ですけれども、３月12日から27日までの７日間の予約率ですが、66.3％となっております。また、３月19日接種分までは予定数に達しておりますけれども、その他の日程については空きがありますので、引き続き利用を促していきたいというふうに考えてございます。

その他のスライドについては、本日の説明に関しますデータですので、のちほどご参照いただければと思います。

続いて、お手元の資料２をご覧いただければと思います。先ほどの道内の感染状況等につきまして、専門家及び有識者、また、市町村、関係団体にも事前にお知らせしているところでございます。

有識者、専門家の皆様方からは、概ね妥当であるというご意見をいただいておりますけれども、主なものをご紹介いたしますと、（１－①）感染者は未だ多く、３回目ワクチン接種率が６割以上になるまでは注意が必要。（１－②）大規模イベントなどの緩和に伴い、飲食店での緩和について、検討すべき時期にきているといったご意見が寄せられております。

私からの説明は以上です。

【副本部長（小玉副知事）】

次に、札幌市の感染状況について、オブザーバー出席いただいております札幌市保健所の山口感染症担当部長から、説明をお願いします。

【山口札幌市感染症担当部長】

資料３に基づきまして、札幌市の感染状況をご説明いたします。それでは、最初のスライドをご覧ください。新規感染者の１週間の合計ですけれども、減少傾向にありまして、昨日の３月10日の時点では5,715人、人口10万人当たりでは291.4人とピーク時の２月７日の４割程度まで減少している状況でございます。

それでは、次のスライドをご覧ください。札幌市の入院患者数の状況でございますけれども、入院患者数は黄色い棒グラフでございます。高止まりの状況は続いているのですけれども、昨日の時点で233人と今週に入りまして、やや減少の傾向が見られております。赤の折れ線グラフの重症患者数でございますけれども、昨日時点で４人となっております。

それでは、最後のスライドをご覧ください。検査件数でございますが、直近の１週間では16,162件の検査を実施してございます。陽性率は昨日時点で35.4％と先週からは減少している状況が見られております。

新規感染者数は減少しており、また、高齢者施設等での集団感染も発生は継続しているものの、徐々に件数としては減少しているところでございます。一方、３月から４月にかけての時期につきましては、特に人の動きが活発になることから、感染の再拡大や重症化を防ぎ、医療への負荷を抑えるためにも、感染対策を継続し、ワクチン接種を進めていくことが重要と考えております。

以上です。

【副本部長（小玉副知事）】
次に、各部・振興局から、順次発言をお願いいたします。
まず、総合政策部長、お願いします。

【濱坂総合政策部長】
それでは、資料４　年度末・年度初めにおける集中的な取組をご覧いただきたいと思います。就職や卒業、進学などに伴う人の移動や会食機会の増加など、感染リスクが高まる時期を迎えることから、年度末・年度始めにおいて、対策の徹底の呼びかけなど集中的な取組を進めてまいります。
まず、様々な機会を活用した普及啓発として、市町村と連携して、転入手続きの窓口において資料を配付するほか、ＳＮＳによる情報発信などの取組を展開してまいります。スライド２をお願いします。オミクロン株の感染力の強さを念頭に、社会福祉施設等、感染が広がっている場所における感染対策の強化のほか、異動による人の入れ替わりや入学・入社等を契機として、対策の再確認などについても働きかけを行ってまいります。道庁自らも、異動に際しての家族も含めた体調管理の徹底や症状が有る場合などにおける赴任期間の延長などに取り組んでまいります。
各本部員におかれましては、感染リスクが高まる年度末・年度始めに向けて、関係機関と連携を図り、感染防止の取組を進めていただくようご協力をお願いをいたします。
以上でございます

【副本部長（小玉副知事）】
この他、各部、振興局からご発言はございますか。なければ、本部長からお願いします。

【本部長（知事）】
本日の新規感染者数は1,644人となりました。減少傾向が続いています。また、療養されている方も減少傾向となっています。病床使用率についても、減少に転じはじめたという状況です。感染防止行動の徹底にご協力いただいている皆様、そして、昼夜を問わず、患者のご対応にご尽力いただいております関係者の皆様に、心から感謝を申し上げます。
しかしながら、引き続き、各地で感染が確認をされています。また、医療機能が集積をする札幌市の病床使用率、これが高止まりという状況にもなっています。引き続き、警戒が必要な状況にあります。各本部員においては、新規感染者数をさらに減少させ、医療への負荷を着実に抑えていくため、まん延防止等重点措置の下、高い警戒感を維持し、対策の徹底を図っていただくようにお願いいたします。
また、本日、国の分科会において、これまでの感染動向を踏まえて、飲食店やイベント、学校や高齢者施設などにおける今後の対策の考え方に加え、まん延防止等重点措置の終了の考え方、さらには、ワクチン・検査制度の取扱いなどについても議論が行われています。重要な議論が行われています。国における今後の検討状況について注視をし、積極的に情報収集を進めてほしいと思います。
また、道のまん延防止等重点措置でありますが、３月21日までとなっております。今お話しをいたしました国の議論、これも踏まえつつ、３月22日以降の対応について、今後の感染状況、そして、医療の負荷を慎重にモニタリングをし、必要な検討を進めてほしいと

思います。感染状況等の分析を基に、来週判断したいと考えています。

また、ワクチンについてでありますけれども、個人の重症化予防、発症予防に加えまして、周囲の方への感染を防ぐ効果が期待できます。医療の負荷を抑えていくためにも、高齢者の方などへの３回目の接種、これを加速していく、これが極めて重要になります。市町村をきめ細かに支援を引き続きするとともに、道のワクチン接種センターがありますが、こちらについて、４月以降の運営についても、検討するように指示をいたします。

そして、先ほど報告がありましたが、年度末・年度始めということで、人の移動、会食の機会、これが増えるという形になります。感染リスクの高まる時期になります。一層の注意が必要になります。市町村や関係団体と連携をして、効果的な注意喚起をそれぞれ行っていただきたいというふうに思います。

私からは以上です。

【副本部長（小玉副知事）】

本部長から指示のあったことにつきまして、各本部員は必要な対応をお願いします。

以上をもって、新型コロナウイルス感染症対策本部の第100回本部会議を終了いたします。

（了）